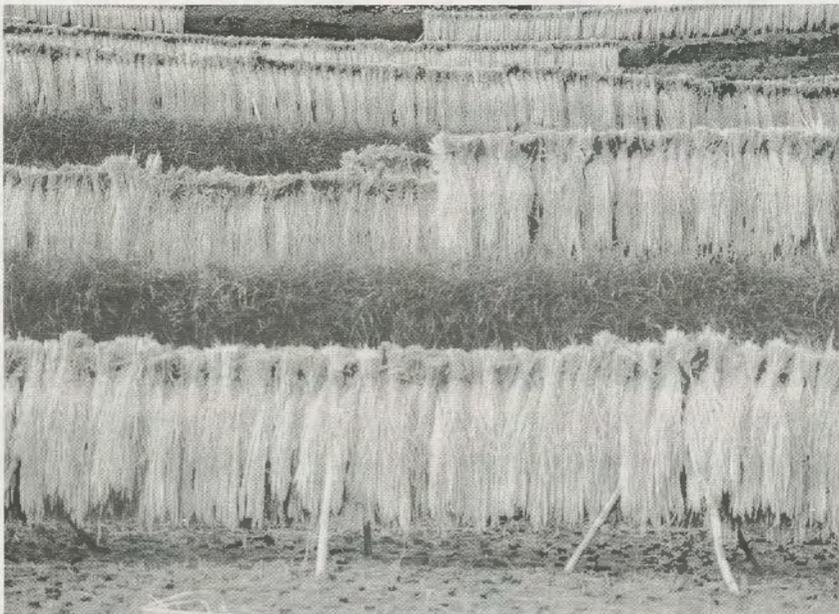


光市医師会報

平成2年11月号

No. 217



暮の秋

光市医師会

開業医雑感

佃 邦 夫

何か一筆書いて下さいと依頼がきました。何を書いても、たわごとのように思われて、筆が進みませんでした。医師会報の『我が青春の譜』を大変面白く読ませて頂きました。温厚に見える諸先輩方にも、波瀾万丈の青春があったことに感動いたしました。小生の少年時代は大自然に育まれた牧歌的な思い出しかありません。今の子供に比べれば誠に自由で好奇心に富んだ、幸せな時代でした。

開業して以来早くも2年が経ってしまいました。光市立病院や近隣の先生方、医師会の皆さんには多大の迷惑をかけたことを、この場を借りましてお詫びいたします。若だけ取り柄で何とかやってこられたのは、自分だけの力でないことをひしひしと感じます。勤務医から開業医へ、この2年間に考えてきたことを書きたいと思えます。

昨年でしたか、県医師会報で『いしの声』という欄があり、「立場医について」という投稿がありました。立場医という考えによく共感するものがあり、心に残っていました。小生は自治医大卒業生という関係で、約9年間県立中央病院を拠点として中堅病院や僻地を経験してきました。他の医者には出来ない貴重な経験をさせていただいたと思っています。いろいろ回っていますと、それぞれの立場で同じ患者でも検査・治療の仕方、考え方、態度が違うのに戸惑いま

す。例えばおなかが痛いと来院された患者に対して、開業医ではおなかの薬を出して様子を見ることが多いと思いますが、大きな病院では血液検査・腹部エコー・胃透視・胃カメラ・注腸透視・大腸ファイバー、大学病院では小腸の透視までするかも知れません。患者の立場で医療をするようにと、盛んに啓蒙されているようですが、開業医のレベルでは十分にそのように行われていると思います。しかし、大きな病院で患者さんの希望をいちいち聞いていたのでは、専門医としてのやり方が歪められる恐れがあるようです。どういうやり方が正しいというのではなく、それぞれの立場でアプローチの仕方が違い、どちらかを患者が選んでいるに過ぎないでしょう。大病院では開業医の批判をよく聞きます。また逆の批判も枚挙にいとまがありません。それはお互いの立場を理解していないことからきているような気がします。

偉そうなことを書いてしまいましたが、最近患者を紹介するのに、専門医がどういう気持ちで受け入れてくれるのか、自信がなくなって来たようです。これからどんどん勉強会に参加し、医師会の先生方や勤務医の先生方とのコミュニケーションを積極的に保っていかなくてはいけないと思っています。

光三師会秋期球技大会

藤原邦彦

日時 平成2年10月21日(日)
午後1時～4時過ぎ
場所 光市スポーツ公園(第三球場)
球技内容 ソフトボール 三試合(5回戦)
各師会 二試合
懇親会 同日 午後6時
新日鉄虹が浜会館

試合結果

第一試合 歯科：薬剤 1：6
第二試合 歯科：医科 16：5
第三試合 薬剤：医科 11：10

変わり易いは秋の空の例えによって、晴天が続いていたので大会当日辺りは雨がふらなければよいがと心配していましたが、会員の日頃の精進が良く、晴れ上がって絶好の日和となりました。雨の時は光井中学体育館でバレーボールの予定であったが、やはり青空のしたでプレーするほうが楽しい。試合開始のかなり前より保健センターの川崎さん(いつも三師会の体育大会にはお世話になっていますが)をはじめ審判員の方達がコートをつくられました。机、椅子を並べ、富原先生の手作りの配点表を取り付け準備は整います。福本先生の司会進行、竹中三師会会長挨拶、前回優勝した医師会より優勝トロフィーが河内山正先生により返還されました。早速準備体操も無く、いきなり本番となったのですが、試合前の下



馬評は歯科医師会と専らでした。なにしろ県歯科医師会ソフトボール大会で優勝し、先週は合同練習も済み、準備おさおさ怠りなしの体。さらに我が医師会の銘々个性的(不揃い)ないで立ちに比べて真っ赤なユニフォームを揃えて、まるで武田の騎馬軍団のごとく強そうに見えます。赤のチャンコだとの声も聞こえました。が・・・対歯科医師会の試合で第一回表に15点を入れられ裏は0と大勢を決せられたのは残念でした。2回以後はかなり善戦したのですが。対薬剤師会では10対10で延長戦にもちこまれ6回の裏に1点を入れられ敗退しました。試合結果は既に述べたように、薬剤師会の優勝、歯科医師会の準優勝、医師会は三位となりました。

(ポジション)最初は 投(河村)、捕(東)、一(藤原)、二(山本)、三(河内山正)、遊(横山)、左(須賀)、中(佃)



右（道上）、補（河村夫人）で、飛び入り自由、守り、打順は随時変更されました。参加者は応援団も含めると60名を越えていたと思われますが、顔触れが決まって来つ

つあるのは少し寂しい気がします。親睦が大切な会なのだから出来るだけ多数参加してもらえればよいと思います。

下松・光医師会合同ゴルフコンペ成績

10月10日 於、周南カントリークラブ

団体戦 優勝—下松 （下松—391、光—395）
（各チーム上位5名のネットの和）

個人戦 優勝—下村先生（下松）

氏名	アウト	イン	グロス	HD	ネット	順位
下村(下)	51	48	99	26	73	優勝
光武(光)	45	44	89	12	77	2位
市原(下)	47	46	93	15	78	3位
鳥枝(光)	59	45	104	26	78	4位
小田(下)	45	40	85	7	78	5位
山本(下)	49	48	97	18	79	6位
前田(光)	48	50	98	17	79	7位
佃(光)	49	54	103	24	79	8位
谷口(下)	49	51	100	20	80	9位
守田(光)	44	50	94	13	81	10位
のみやま(下)	47	48	95	14	81	11位
武内(下)	59	59	118	36	82	12位
森本(光)	43	52	95	13	82	13位
明石(下)	44	48	92	9	83	14位
平田(光)	50	47	97	14	83	15位
竹中(光)	56	52	108	24	84	16位
藤村(光)	46	48	94	10	84	17位
玉川(下)	50	49	99	14	85	18位
武居(下)	50	52	102	16	86	19位

氏名	アウト	イン	グロス	HD	ネット	順位
松野(下)	53	56	109	22	87	20位
花田(下)	53	53	106	19	87	21位
藤岡(下)	53	53	106	18	88	22位
白倉(下)	56	47	103	15	88	23位
中島(下)	59	52	111	22	89	24位
兼清(光)	52	62	114	25	89	25位
野見山(下)	52	48	100	8	92	26位
諏訪(光)	48	58	106	12	94	27位
梶原功(下)	54	54	108	14	94	28位
加来(下)	62	62	124	22	102	29位
梶原誠(下)	67	65	132	27	105	30位
村上(下)	75	69	144	27	117	31位

平成2年度第3回光医歯会ゴルフコンペ

（下松・光医師会合同ゴルフコンペ）
と同時開催

優勝 鳥枝先生

ゴルフ優勝記 (第3回光医歯会ゴルフコンペ)

鳥 枝 道 雄

平成2年10月10日水曜日、体育の日にて全国的に休日。我輩の勤める中小企業病院の『居のこり』『待機』『早出』『当直』あるいは『休日回診』攻撃を種々の陰謀をめぐらしてこれらを回避、下松・光合同ゴルフコンペに参加させて頂きました。

当日はうれしくて午前4時半には目が覚めました。寝ようとしても寝られません。しかたなくコーヒーを沸かしてアンパンをかじり外に出るなり、素振り90回(すでに90で回るつもり)。7時には家を出ていざ周南へ。2箱練習球を打ち、さらにパットの練習。さあアウトコース1番へ。打順を決めるに4番。ポケットに手をやれば、DDHツアースペシャル4番。『何か縁起悪いな』と思いつつティアップ。まず素振り1回。左への乗りもまずまず、ところがあるろうことが、第1打はOBまがいの超警級スライスで右の山の太斜面ラフへ。気をと直して第2打、これが空振り。第3打あのいまましいペッチン(ソケット)。第4打またまたペッチン。第5打でやっとフェアウエーへ。第6打第7打内野ゴロ。はいはい11オン、やっぱりの3パット。何んと出だしパー4は14。笑ってはいけませんよ。おじさんは1打1打真剣に打ったのだ。『あーあ、これで今日も終わったか。グスン!』と思っておりました。も一度気をと直して2番へ。アアのダボ。午前中にハンディを使いきってしまうのでしょう

か。ところが8番185ヤード、3番アイアンでティショット。やや高く上りすぎてショート。チップショット、『パシッ! トン、グアシャッ!』音がしましたな。なんとチップインバーディ。午後へ期待がもてました。

昼はパットのタッチ抜群の前田先生にならって皿うどん。筋肉をほぐすためさらに生ビール2杯。

さあさもう後がありません。気合いを入れてティショット。アララ~右のバンカーへ。アアの3パットのトリプル。ところが奇跡か神がかり、次のショートはパー、次もパーで、エンジンのかかるのがやや遅かったが、それからおじさんのボギーラッシュが始まったのでした。結局グロス104。ネット78。まあ優勝なき事を確信しつつ、ミーティングへ。好天だったのに、あらあ皆様どうされたのでしょうか。な、なんと総合で4位、光で優勝。優勝賞品は丸久の商品券1万円で、かあちゃんは「でかした」の一言で全部もっていったのでした。

ところで鳥枝のバカが第1ホールで大叩きをしたので、光の団体優勝は4打差でナシ! 光医歯会の皆様、ごめんなさい。次回はもっと大脳皮質を鍛えてまいります。しかし4のつきまとった大会でした。

幹事の光武・平田両ドクター大変お世話になりました。いやー本当によろしく遊ばしてもらった、ジャン、ジャン、おしまい。

10月度月間行事・会議

日	曜	行事・会議	場所	出席者
9	火	定例理事会	光市医師会館 (光商工会議所)	9名
10	水 (休)	下松・光医師会合同ゴルフコンペ	周南 C C	7名(光市医師会)
16	火	学術講演会・月例会	保健センター	
17~ 20	水~ 土	国保審査委員会	山 口 市	富 恵 副 会 長
18	木	結核審査会	徳山環境保健所	福 本 会 長
19	金	心電図研究会	光市立病院	9名(光市医師会)
21	日	光三師会秋季球技大会	光市スポーツ公園	14名(光市医師会)
23	火	麻薬免許申請・麻薬年間受払届	光市医師会館 (光商工会議所)	20 医 療 機 関
25	木	第114回 山口県医師会定例代議員会	県 医 師 会 館	福 本 会 長
28	日	新規第一号会員保険集団指導	県 医 師 会 館	富 恵 副 会 長

定例理事会

10月9日(火) 午後7時30分～

光市医師会館(光商工会議所)

(出席者) 福本会長、富恵副会長

丸岩・藤原・近藤・前田

梅田・赤崎・吉村理事

議 題 (報告・協議事項)

1) 労務担当理協議会の報告(梅田理事)

労働自主点検のコメント

2) 永年勤続者表彰の件

予算15万円の予定

各医療機関ごとに表彰をおこなう。

表彰者一計22名(15年—2名、10年—6
名、5年—4名、3年—10名)

3) 労災自賠責担当理事協議会の報告

(近藤理事)

4) 日医FAXニュースの件(福本会長)

日医FAXニュースの配布は不要の声がある。希望者、重要事項の掲載時に配布等によいのではないか。月例会で説明

5) 三師会球技大会の件(福本会長)

出席者—医師会12名、歯科会医師会14名、
薬剤会師会19名

- 6) 出張旅費の件 (福本会長)
福本・藤原案を了承
- 7) 地域医療連携推進の件 (福本会長)
50名を登録(本庶・吉田・前田俊先生を除く)
- 8) 胃集団検診の精検受託の件
(福本会長)
受託医療機関を保健センターに連絡
- 9) 麻薬受付の件 (福本会長)
- 10) 学校医研修会の件
永田先生、原田先生に講演依頼予定
- 11) 会計報告(4~9月分)(藤原理事)
理事会了承
- 12) 事務員の出張旅費の件

心電図研修会 (第28回)

光市・下松医師会合同
10月19日(金) 午後7時30分~
光市立病院

演 題「心電図の読み方」
講 師 徳山中央病院 河野隆任先生
症 例

- ①61才、♂、(主訴)胸部絞扼感
EKGでI・ⅡのST上昇が見られ、ごく早期の側壁梗塞ではないかと考えたが、其後EKG経時変化はなく、血液の酵素も異常なし。しかし冠動脈造影の結果は左前下行枝の50%の狭窄であった。以上よりI・ⅡのSTの変化をどのように意味づければよいのか判断がむづかかった症例。
初診時の頻脈(上室性頻担症)はすぐ改善されている。

- ②68才、♀、(主訴)呼吸困難
典型的な高K血症のEKGを呈した例
- ③66才、♂、(主訴)咽頭部の絞扼感発作
Ⅴ₄~Ⅴ₆のTの変化。運動負荷すると陰性Tが陽性Tに変化する。
診断—狭心症(3本の血管の障害の例)
- ④80才、♀、(主訴)めまい、失神、労作時に胸部不快感
①②—赤崎先生症例、③④—河野先生症例

学術講演会

10月16日(火) 午後7時~
光市保健センター

演 題「肺炎の鑑別診断」
講 師「済生会下関病院 中島明雄先生



月例会

10月16日(火) 学術講演会終了後~
光市保健センター

議 題 (報告・協議事項)

- 1) 麻薬受付について (福本会長)
- 2) 地域医療連携推進の件 (福本会長)
- 3) 胃集団検診の精検受託の件
(福本会長)
- 4) 日医FAXニュースの件 (福本会長)
- 5) 三師会球技大会の件

会員研修会発表

1) 中国地区学校医大会—10月7日

「光市における学校心臓検診7年間の実態」 福本先生

2) 周南医学会—10月7日

「当院における陥入爪例の検討」
富恵先生

3) 周南医学会—10月7日

「生体腎移植後睪丸腫瘍が発生した1例」

須賀先生

山本先生

(山口大学泌尿器科)

＝ 編 集 後 記 ＝

11月から12月初めのいわゆる晩秋から初冬にかけての暖かな日和を小春日和というのだそうですが、表現通りのようなよい天気が続いております。

三師会のソフトボール大会では、医師会「ドクターズ」は河村・道上両投手の魔球が冴えわたり、重量打線の豪打が炸裂したにもかかわらず連敗し、予想に反して最下位でした。しかし医師会初めての女流選手の登場、応援団の舌戦は断然優勢その上好天であった事で由としなければならぬでしょう。

予想に反すと云えば今秋の野球は予想外の展開が多かったように思います。まず海の向こうのワールドシリーズでは負ける事は万に一つもないと言われたアスレチックスが、事もあろうに4連敗。海のこちらでは大接戦が予想された日本シリーズでも、我が国のプロ野球の盟をもってなるチームが大差の敗け。これまた4連敗。そしてきわめつけの予想はずれは、海を挟んでのプロ野球対決で、大苦戦予想のオール日本チームが野球の本場のオールスターチームに勝ち越すありさま。勝負事は予想がはずれ

る事が多いので面白いのでしょうか、下松医師会とのゴルフで鳥枝先生の一番ホールでの14打、これは予想外だったのでありますが、優勝は案外予想通りだったのかもしれませんが。

今月号は藤原先生・鳥枝先生・佃先生に原稿をいただきました。有難うございました。なお佃先生の原稿の題を勝手につけました。ご容赦下さい。

先月号の編集後記に「澄んだ秋空を何日も続いて眺められそうにない」と書きましたが、其後晴天が続く赤面のいたりです。気象に素人が天気の詳細をみると、とんだ恥をかくよい一例です。今月号も小春日和が続くと書きましたので、また予想がはずれ……。遊びに関する予想は、はずれるためにあるのかもしれませんが。(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	福本寿雄
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社